



1
Jan. 2019
No.762

黄金の实りを

いただきますー



心から住み続けたい、

住んで良かったと思える

理想の黄金郷の実現に向けて

明けましておめでとうございます。

町民の皆さまには、健やかに新春をお迎えのことと、お喜び申し上げます。

また、日頃から、町政の運営に対し、温かいご支援、ご協力を賜り、心からお礼申し上げます。

早いもので、私が町長に就任してから4回目の新年を迎えました。本年は、新しい元号を迎える年という点でも、いつもの正月とは違う心持ちがいたします。

本町としましては、平成27年度に策定しました「第五次涌谷町総合計画」で掲げております町の将来像「黄金花咲く交流の郷 わくやー自然・歴史を活かした健康輝くまち」に向かい、さらにまい進する年であります。

これまで皆さまには、五つの政策をお約束しておりますが、その第一に掲げて

おります「子供を安心して産み育てられる支援」につきましては、これまで実施してまいりました「保育料・教育費・医療費」などの負担軽減対策を継続しながら、放課後学童施設の建設や小中学校へのエアコン設置など、教育施設の整備を実施し、定住対策としましては、黄金山工業団地に誘致しました企業も本年操業を開始することから、さらなる企業誘致の推進と地元企業との連携により、雇用の創出・確保を図るとともに、併せて住宅取得支援や新生活支援も継続して推進してまいります。

第二に住まい・医療・介護・予防・生活支援を一体的に提供する「地域包括ケアシステムの確立」であります。可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けられるよう、昨

涌谷町長
大橋 信夫



年開設30周年の節目を迎えました町民医療福祉センターを中心として、関係機関などと連携を図りながら、支援・サービス体制を充実させてまいります。

第三に、「農商工業振興による地域経済の活性化」であります。平成29年度から進めております涌谷産「金のいぶき」によるブランド米創出事業をさらに推進するとともに、本年10月には、消費増税が予定されていますことから、商工業への支援も継続してまいります。

第四に、「安心・安全な暮らしを支える防災対策」であります。震災以降、毎年、各地で自然災害が猛威をふるっております。幸いにも本町では、大きな災害は発生しておりませんが、いつ、どこで起きるかわからない災害に対する備えが今後、ますます重要となります。震災から8年近くたち、災害に対する記憶が薄れつつあることから、災害に対する住民の防災意識の向上や多様な災害リスクに対応した備えを充実させてまいります。

第五に、「若者参加型の協働のまちづくり」であります。町の活力を生み出す

のは次代を担う若者たちが参加するまちづくりであります。ここ数年の夏まつりを始め、町おこし事業など若者の活躍が多く見られることに頼もしさを感じております。次代の担い手たちがこれまで以上に町や多世代の皆さまとの関わりを深め、誇りを持ち、人間活力のある町になるよう環境整備を進めてまいります。

本年は、新しい元号を迎える記念すべき年であり、今任期の最終年でもありますことから、多様化する課題に一つひとつ丁寧に対応し、皆さまとともに新たな希望が持てる施策を実行し、活力と魅力あるまちづくりに努めてまいりますので、町民皆さまの一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びにあたり、本年が皆さまにとりまして、実り多き、素晴らしい年となりますことを祈念申し上げ、新年のあいさついたします。



新たな産金の物語

～第二章～

平成29年から本格的なブランド化が始まった玄米食専用で、栄養が豊富なお米「金のいぶぎ」。

生産者12戸が作付面積11ヘクタールで挑んだ今年の「金のいぶぎ」の作柄やオリジナルパッケージでの発売からの1年間、そして、「涌谷町の現代の金」としての今年の奈良東大寺への献納について、振り返ります。



平成30年産の品質と収量
平成30年産「金のいぶぎ」は、平成29年産に比べて品質は格段に向上しました。昨年度までの反省を踏まえ、肥料の配合を改良した土づくりを実施。稲の根元の節間が短くなることも土壌への根のはりが強くなり倒伏を防げたのが大きな要因で、食味も良くなっています。

一方で、収量は、昨年と比較して1反(300坪)あたり1俵(60kg)の減収となり、約6俵にとどまりました。この収量の減少は「金のいぶぎ」に限ったことではなく、東北から北海道にかけてあらゆる品種に共通したもので、特に、出穂時期が遅い品種の収量の減少が顕著でした。

その原因は解析中ですが、例年よりも気温が高く推移し、8月上旬に出穂した時期にかけて猛烈な暑さに見舞われたことと、雨不足によって出穂時期に必要な不可欠な用水を十分に確保できなかったことにより、稲穂自体の見た目はよくとも中身が入らない不稔のもみが多くなる結果となりました。



発売から1年を振り返り

涌谷町産「金のいぶき」としてオリジナルパッケージ（3合450g入り）での販売数は、平成29年12月から平成30年11月までで約8300パックを出荷しました。主な取扱場所は、JAみどりの管内Aコープ各店やわくや産直センター黄金の郷、元気くん市場（富谷市含む）、JRアグリ仙台「AOYA」といった小売店に加えて、各種イベント出店です。

新たに、JA全農が運営するインターネット通販サイト「JAタウン」内でも購入できるようになり、遠方からでも取り寄せられる体制が整いました。

また、涌谷町産「金のいぶき」の評判は、他の「金のいぶき」に比べ、甘みが強くおいしいと好評で、定期購入しているという声も多数寄せられています。

株式会社高清水食糧（本社・栗原市）において、玄米に付着している虫の卵や雑菌を取り除く高温スチーム処理を施しています。そのため、安全・安心に食べれる上に、甘みも増すという消費者にとつての

メリットが多いのが、涌谷町産「金のいぶき」です。

もう一つ上のステージに上がるために

生産面では、土づくりの改良により倒伏は防げるようになったため、今後は、田植え時期を早め、出穂時期と猛烈な暑さが重ならないようにするなど、不稔防止に取り組んでいき、1反あたり8・5俵を目標収量として改善に取り組んでまいります。

元々生産者の所得向上を目標に取り組む「金のいぶき」のブランド化であることから、品質と収量の安定化を目指しながら、生産者と作付面積も増やしてまいります。

平成29年からのさまざまに取り組みや報道による情報発信の成果として、関係する業界や団体に対して「宮城県金のいぶき」涌谷町」という地位を築けつつあります。今後は、さらなる販路の拡充のため商談会などに積極的に出展し、小売りだけではなく業務用としての取扱いも見据えてPR活動を積極的に展開する予定です。

金のいぶきのブランド化の航行は、始まったばかり。

涌谷町産ブランドの旗艦米としての取り組みは、これからが正念場。

日本初の産金地・涌谷町だからこそ、生産者だけではなく、町民の皆さんも消費者として、食卓に取り入れたり、遠方に住む人への贈り物するなど、共にブランド化を推進してまいります。



みんなに好まれるおいしい「金のいぶき」へ

涌谷町では、学校給食においても「金のいぶき」を提供しています。11月19日（月）には、平成30年産の新米を白米に3割ブレンドして提供しました。

この日訪問した涌谷第一小学校の2年生の教室では、「金のいぶき」の給食が定着しており、多くの児童が残すことなく完食。

地元でもしっかりと支持される「真のブランド化」を今後も進めてまいります。

【写真解説】

①東大寺大仏殿に供えられた「金のいぶき」②④大橋町長を先頭に生産者の皆さんが大仏殿へ献納③献納にあたり厳かに執り行われた法要⑤⑥⑦⑧平城京で華開いたきらびやかな貴族文化を現代によみがえらせ、聖武天皇・光明皇后とともに奈良市内を東大寺大仏殿まで練り歩く平城京天平祭東大寺参詣の行列に今年も⑨黄金の実りを収穫⑩玄米食でもおいしく食べています⑪みんなできれいに完食



火災や災害からの避難経路「命の道」が開通 町道沢1号線の延伸工事が完了

11月27日(火)に、城山公園東側の赤心地区において、町道沢1号線の延伸工事が完了したことに伴い、地域住民の皆さんによって、安全祈願祭が執り行われました。

これまで集落に通じる道路が1本のみであったため、火災や災害時に避難経路を確保できない状況であったことにより地域から道路整備の声が挙がったことを受け、集落内を走る道路を、涌谷中学校裏手の道路まで延伸したものです。安全祈願祭後、参列者一同で渡り初めを行いました。



満百歳おめでとうございます

阿部清子さんに祝詞を贈呈

11月26日(月)に城山区の阿部清子さんが、満百歳の誕生日を迎えられました。

町では同日訪問し、お祝いの言葉を贈り、敬老祝い金を贈呈しました。6歳までカナダで過ごし、小学校入学を機に帰国した阿部さん。健康の秘けつは、「体を動かすこと」と話します。毎日手足を伸ばす柔軟運動を欠かしません。どうぞこれからもお体に十分気をつけて、ますます長寿であることをお祈りします。



納税の啓発と納税意識の高揚に

納税標語コンクールの受賞者が決定

12月4日(火)に、平成30年度納税標語コンクールの表彰式が行われました。このコンクールは、涌谷町の未来を担う町内小中学校の児童生徒を対象に、納税の啓発および納税意識の高揚を図るため、「納税標語」を募集したもので、素晴らしい作品の応募が多数ありました。厳正なる審査の結果、入賞作品が決定しました。

なお、入賞作品は、町内の公共施設に掲示するほか、納税通知書や封筒に印刷し活用させていただきます。

【納税標語コンクール受賞作品】

《小学生の部・最優秀賞》

ありがとう 税が使われ 教科書に
 篔岳白山小学校 5年 藤村穂薫さん

《小学生の部・優秀賞》

納税は 豊かな町への 入場券
 篔岳白山小学校 6年 福田悠人さん

納税で みんなが集える ふるさとへ
 涌谷第一小学校 6年 大友汐菜さん

納税で みんなの幸せ つくられる
 月将館小学校 6年 岡本春奈さん

《中学生の部・最優秀賞》

納税で 涌谷の未来 黄金色
 涌谷中学校 1年 砂金桃子さん

《中学生の部・優秀賞》

税金は みんなを守る レスキュー隊
 涌谷中学校 3年 廣瀬誇美さん

▶納税標語コンクールにかかわる問い合わせ先

税務課納税班 ☎43-2114



涌谷お茶屋節踊りを全国に発信 全日本民謡指導者連盟から感謝状

11月12日(月)に、静岡県熱海市で開催された第54回民謡指導者研究会において、長年にわたり涌谷町内の小中学校でのふるさと教育の一環としての指導や各種行事における踊りの披露が評価され、全国から集まった伝承芸能の指導者約1000人に対して、涌谷お茶屋節踊り保存会が日本として守るべき伝承芸能として「涌谷お茶屋節踊り」を指導してまいりました。それらの功績によって、研究会を主催した全日本民謡指導者連盟から感謝状が贈呈されました。



多年にわたる交通安全指導員としての功績に 田幸子氏が宮城県知事から褒状

11月19日(月)に、名取市文化会館で開催された宮城県交通安全県民大会において、涌谷町交通安全指導隊の田幸子氏に対して宮城県知事から褒状が贈られました。田氏は、平成20年10月に涌谷町交通安全指導隊員に任命されて以来、10年間にわたって交通事故根絶を悲願として各種交通安全運動に従事され、涌谷町の住民に交通道德の啓発と交通安全意識の高揚に尽力されてきました。今後も安全で安心なまちづくりにご協力をお願いします。



長年にわたる善行に対して 一般社団法人日本善行会から表彰

11月17日(月)に、今野武則氏、荒研一郎氏、佐々木利子氏、三浦政章氏の4人が、長年にわたって青少年の健全育成や公共生活の進展に献身的に奉仕し、明るく住みよい社会環境づくりに尽くされてきたとして、その功績をたたえ、一般社団法人日本善行会会長から表彰されました。今後とも引き続き涌谷町の住みよい地域づくりにご協力とご支援をお願いします。



アルプス電気の日本の拠点としてこれからも アルプス電気涌谷工場が50周年

11月17日(土)に、わくや天平の湯小劇場において、アルプス電気涌谷工場竣工50周年を記念した感謝パーティーが開催されました。会の冒頭、アルプス電気株式会社代表取締役社長の栗山年弘氏から「創業者は東北に根付き産業に貢献したいという思いで進出してきた。涌谷工場は安定した生産技術開発を担い、新たな古川工場とともに今後も世界に向けたマザー工場として変わらない」と挨拶がありました。



地域包括ケアシステムの先駆けとして 町民医療福祉センター開設30周年

11月17日(土)に、涌谷町町民医療福祉センターにおいて、町民医療福祉センター開設および健康推進員協議会設立30周年の式典を執り行いました。

式典には、初代センター長であり北海道大学名誉教授の前沢政次氏をはじめとして多くの関係者が出席。式典では健康推進員協議会の30年間の活動紹介や前沢氏による基調講演が行われ、その後のパネルディスカッションでは、涌谷町の地域包括ケアを考えるをテーマに議論されました。



涌谷町から科学者を育てよう 冬の涌谷町HAMクラブ電子工作教室

12月9日(日)に涌谷公民館において、涌谷町HAMクラブによる電子工作教室が開催されました。今回もアルプス電気涌谷工場に協力を受けながら、「涌谷町から科学者を育てよう」をキャッチフレーズに開催。

低学年は不思議にバランスをとりながら走る「スクローラー」を、高学年は半田ごてを使って電子回路をつなげる「ステレオアンプ」を、HAMクラブ会員やアルプス電気の社員の皆さんに指導を受けながら完成させました。



出店者も、来場者もみんなわくわく わくわくマルシェVol.1を開催

12月9日(日)に天平ろまん館において、子育て世代を中心に対象とした手芸作品やネイルアート、タルト・パンなどが一堂に会する「わくわくマルシェ」が開催されました。

石巻市でママイベントをプロデュースしている後藤和江さんが春に涌谷町で開催された和服リフォームファッションショーに出演した際に、今回の出店者でもある「あとりえboss&Nonko」の後藤のり子さんとなつたり、今回の「子育て世代」に向けたマルシェ開催企画が、今年7月に持ち上がりました。

後藤和江さんが出店者にとりまとめつつ、後藤和江さんと涌谷町地域おこし協力隊の湯浅隊員と知り合いだったことから、湯浅隊員が天平ろまん館を会場とすることや涌谷町内への告知をコーディネートし、マルシェ開催が実現しました。

開催当日は、開場時間前から駐車場が一杯になるほどの大勢のお客さまが来場し、会場入り口には長蛇の列ができていました。

各出店者ブースでは、子育て中のファミリー層を中心に会話を楽しみながら思い思いの品物を「わくわく」しながら買い求めていました。





障害について正しく理解する

わくやふれあいフェスタ2018開催

12月1日(土)に、涌谷公民館において、涌谷町障害者自立支援協議会が主催する、楽しみながら障害や障害のある人に対する理解と関心を深めてもらうことを目的としたわくやふれあいフェスタ2018が開催されました。

会場内には障害者福祉施設の活動報告や加工品や手芸品、工芸品などの出店が設けられた他、「介護補助スーツ」といった福祉関連機器が展示され、来場者が各ブースに足を止めて興味深そうに説明を受けていました。



涌谷町が落語を堪能した一日

第2回桂吉弥落語会を開催

11月19日(月)に、みやぎそよ風の会(代表渡邊郁男氏)が、第2回桂吉弥落語会を開催しました。

当日は、午前中に月将館小学校で、午後からは涌谷中学校において、児童・生徒を対象とした落語が披露され、夜には涌谷公民館において公演されました。

子どもたちにとっては普段身近ではない上方落語を体験する機会となり、大人にとっては上方落語を堪能するひと時となりました。



子育て支援サークル・おひさまスマイル活動報告

みんなで楽しむコンサート2018

11月11日(日)に涌谷公民館で『みんなで楽しむコンサート2018』を開催。オープニングは、リトミックの活動発表で、0才児から3才児までのメンバーが頑張りました。コンサートは、リコーダーアルサンブルグループ『マジョーブ』の演奏。さまざまなリコーダーの紹介や、子どもから大人まで楽しめる曲をたくさん演奏してくれました。馴染みのないさまざまなリコーダーを間近にし、いろいろな曲を耳で楽しみ、素敵な時間を過ごすことができました。



しろやま さん
城山の金さん徒然日記

サンタさんとクリスマス会に

12月13日(木)に、涌谷幼稚園でクリスマス会が行われるということじゃったので、お邪魔してまいった。

プレゼントを届けに来たサンタさんとともに、わくわくした子どもたちが待つ会場内に登場したところ、大歓声で迎えていただいた。今年のゆるキャラグランプリでも、なかなか思うような順位とはならなかったが、涌谷町内の子どもたちからの人気は上々のようじゃった。むしろ、サンタさんよりも、わしの方が人気があったかもしれんわ。

PickUp! くらしの情報 Information

お知らせ



副町長の退任について

このたび、涌谷町副町長の佐々木忠弘氏から退任願が提出され、平成30年12月31日をもって退任いたしましたので、お知らせします。

善意をありがとう

▼ふるさと納税として（11月分）全国の63人の皆さん
75万7千円

▼ブランド米創出事業支援ふるさと納税として（11月分）全国の5人の皆さん
8万2千円

▼行政運営の一助として
佐々木茂楨氏

町指定文化財「佐々木家屋敷」土地・建物・佐々木家資料一式

▼児童館運営の一助として

（株）カツヨシ商事パチンコ
メルヘンワールド涌谷店
お菓子3箱

【ふるさと納税は涌谷町のまちづくりに生かされます】

ふるさと納税とは、新たに税を納めるものではなく、自分が生まれ育った地域やかかわりの深い地域などに貢献したい、応援したいというみなさまの思いを、寄附というかたちで表していただく、『ふるさと』への寄附金のごことで、寄附金のうち2千円を超える部分について、所得税と個人住民税から一定の控除を受けられる制度です。

涌谷町では、美しい霜降りの「仙合牛」や「現代の名工」が醸造し全国味噌品評会でも好評の赤味噌「のんのん味噌」、玄米食専用米「金のいぶき」などの特産品をラインナップして、お礼の品としてお贈りしています。



「涌谷町を応援したい」という親戚・友人の皆さまに紹介してください。

▼問い合わせ先

総務課 ☎43-2111

国民年金のお知らせ

新成人の皆さんへ
20歳になったら国民年金

国民年金は、老後や病気や事故で障害が残ったとき、家族の働き手が亡くなったときの生活を、働いている世代で支えようという考えで作られた仕組みです。
20歳になったら、忘れずに国民年金の加入手続きをしましょう。

国民年金のポイント

▼将来の大きな支えに
国民年金は、20歳以上60歳未満の人が加入し、保険料を納める制度です。国が責任を持って運営するため安定しており、年金の給付は生涯にわたって保障されます。

▼老後のためだけのものではありません
国民年金には、老齢年金のほか、障害年金や遺族年金もあります。障害年金は、病気や事故で障害が残ったときに受け取れます。また、遺族年金は、加入者が死亡した場合、その加入者により生計を維持されていた遺族（「子のある配偶者」や「子」）が受け取れます。

学生納付特例制度

学生は、一般的に所得が少ないため、本人の所得が一定額以下の場合、国民年金保険料の納付が猶予されます。対象は、学校教育法に規定する大学、大学院、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校および各種学校（修業年限1年以上の課程）、一部の海外大学の日本分校に在学する人です。

納付猶予制度

学生でない50歳未満の人で、本人および配偶者の所得が一定額以下の場合に、国民年金保険料の納付が猶予されます。（平成28年6月以前の期間は、30歳未満であった期間が対象となります）
不明点は、お問い合わせください。

問い合わせ先

- 古川年金事務所国民年金課 ☎23-1200
- 町民生活課町民生活班 ☎44-2898

涌谷町子育てに関するアンケート

ご協力への御礼とお願いについて
子育てに関するアンケート調査を送付したところ、皆さまから回答のご協力をいただき、心からお礼申し上げます。未回答の場合は、できるだけ早めにポストに投かんしていただきますようお願いいたします。

回答期限

1月31日（月）までに投かんしてください。

問い合わせ先

福祉課子育て支援室 ☎43-5111
（内線521）

償却資産の申告は忘れなく

工場や商店、農業などの事業経営のために用いられる機械・器具・備品などは償却資産といい、土地や家屋同様に固定資産税の課税対象です。対象の資産は、所得税・法人税で必要経費や損金に算入されるべきもので、対応年数が経過した資産も含まれます。また、遊休地や家屋の屋上スペース、屋根などに設置した太陽光発電設備も、償却資産に該当します。家屋の屋根材となっている場合や、10kw未満の太陽光発電設備で個人利用を主な目的としたものは除きます。

